

雲南省

省都……昆明
面積……約39.4万km²(日本とほぼ同じ広さ)
民族……漢民族66.59%、その他少数民族(イ族、
ペー族、ハニ族、ミャオ族、ナシ族など)
人口……約4,288万人(うち少数民族33.41%)
(2001年)



from the world
世界の国
から

雲南省 (中華人民共和国)

Yunnan Province
People's Republic of China



ASEAN地域へのゲートウェイの役割を担う

美しい自然が観光客を魅了

中国の西南部に位置し、気候が一年を通じて温暖な雲南省は、面積の84%が山岳地帯となっており、低地と高地の標高差が約6000m近くあります。

各地に大小の湖沼やカルスト地形が見られるなど美しい自然があふれ、特に省都昆明から100kmほど南東にある石林の、奇岩が立ち並ぶ景色はとても見ごたえがあります。また、25の少数民族が住んでいることでも有名で、毎年国内外から大勢の観光客が訪れます。

ちなみに2002年の外国からの観光客は150万人、国内からの観光客は5100万人でした。日本からの観光客も多く、2001年には7万6000人が訪れました。

ミャンマー、ベトナム、ラオスに隣接する利点

ただ、ビジネスの面では内陸とい

うこともあり、沿岸部の上海、広東省、福建省などに比べて、知名度が低いのが現状です。今回お話を伺った日本企業の方々も、雲南省がもっている潜在能力にはとても興味を示していただきましたが、輸送コストなどの点がどうしてもネックになるようでした。

しかし、雲南省にはミャンマー、ベトナム、ラオスと隣接しているという利点があります。現在、中国とASEAN地域との間で、自由貿易に関する協定が協議されているということもあり、雲南省は中国におけるASEAN地域へのゲートウェイとして大変重要な役割を担っています。

また、メコン川の源流があるなど水資源が豊富なため、水力発電による電力を沿岸部に送電する役割も果たしています。

日本の花の生産技術を導入したい

滞在中(2月4日~4月4日)には、日本各地の企業の方々とお会いすることができました。昆明と姉妹都市提携を結んでいる関係で、神奈川県藤沢市では、商工会議所主催による雲南省のビジネスに関する説明会も開催されました。

また、東京ドームで開催された世界らん展や、フラワードーム2003~あいち花フェスタ・名古屋国際蘭展~に行き、日本の園芸関係の方からいろいろとお話を伺いました。

農業が主要産業である雲南省で



ペー族の伝統的な手工芸品「ザー染め」
(写真は2点とも中華人民共和国国家観光局提供)

は、これまでタバコの生産に依存してきましたが、99年に昆明で花博が開かれたことをきっかけに、最近では新しい産業として花の生産にも力を入れており、現在、中国国内のシェアは50%を占めています。

しかし、高品質が求められる日本の市場に出すまでには至っておらず、品質向上のためにも、ぜひ日本の技術を導入したいと考えています。

日本に滞在するのは今回が初めてでしたが、交通の便利さは想像以上で驚きました。また、企業の方から様々なアドバイスや食品サンプルの依頼、要望を受け、大変充実した滞在となりました。帰国後は、今回の経験を現場にしっかりと伝えていきたいと思っています。

龐 澤敏(パン・ツーミン)

中国雲南省玉溪市招商局
外来投資管理処 処長

Ms. Pang Zemin
Division Chief
Investment Management Division
Yuxi Municipal Investment Promotion
Bureau



水を掛けて祝福する「水掛け祭」は
タイ族の最大の祭り